

ドイツ語(German)

担当教員名	大澤 三枝子	
学科・専攻、科目詳細	電気情報工学科 電気電子工学コース 4年 通年 2単位 講義	
学科のカリキュラム表	一般科目 選択科目	
共生システム工学の科目構成表	教養科目 外国語系	
学習・教育目標	共生システム工学	A-2(20%) B-1(50%) B-2(30%)
	JABEE基準1(1)	(a)(f)
科目的概要	<p>自分の日常生活を平易なドイツ語で表現できるように、文法のみを学ぶのではなく、実用的な会話表現を学びます。実際の場面で通用するキーセンテンスをしっかりと覚えるためにペア授業で対話する形式をとります。対話練習を通して応用範囲の広い基本的な文型を学び、簡単な表現を自分から発信する練習をします。言語の学習と並行して、ドイツの環境問題の取り組みや教育制度等も学んでいきます。映画鑑賞を通してドイツの社会・文化にも触れる機会を設けます。</p>	
テキスト(参考文献)	CD付き スウェーネン1 integriert場面で学ぶドイツ語 佐藤修子著 (三修社)	
履修上の注意	<p>(1) ペアでの対話練習にしっかり取り組むこと。 (2) 毎回配布されるプリントの練習問題をし、理解できない事項は必ず質問すること。 (3) 授業に積極的に参加・発言すること。</p>	
科目的達成目標	<p>論理的思考の養成(学習教育目標A-2): 文法を単に丸暗記するのではなく、ドイツ語の規則性を自ら見出していくように基礎文法を学んでいきます。 コミュニケーション能力の養成(学習教育目標B-1): 対話練習を通して、ドイツ人と接したときに、自分に関して簡単な紹介ができ、相手や相手の国について知りたいことを、簡単なドイツ語で発信できることを目指します。</p> <p>異文化への理解と対応能力の養成(学習教育目標B-2): ドイツに関する記事やDVDを通して、異なった社会制度や価値観を知り、物事を異なった視点からも考察してみます。</p>	
自己学習	<ul style="list-style-type: none"> 各課毎に配布されたプリントを読み、復習しておくこと。 	
目標達成度(成績) の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/4以上の欠課
	<p>定期試験(70%) 4 年次に学ぶ基礎文法と簡単な文章の内容理解中心 小テスト(20%):文法中心筆記テスト、ドイツ語会話テスト (評価基準: 発音・流暢・文法的正確) 出席状況授業への積極的参加度 (10%) 出席・授業中の対話練習を積極的にする。教科書とファイルの持参・プリントの練習・課題の提出が評価の対象です。尚、欠席が授業時間の1/4 を超えた場合、単位は認定されません。以上の基準において学年末で100点満点中60点以上が合格となります。</p>	
連絡先	ohsawa@s.akashi.ac.jp	

授業の計画・内容	
第1週 授業のオリエンテーション	ドイツという国のインフォメーション・ドイツ語への導入・文字と発音・自分の名前をアルファベットで言う。発音規則を学ぶ。
第2週 Lektion 1	いろいろな挨拶表現・名前・出身・住所を言う。規則動詞の現在人称変化(1人称・2人称単数敬称と親称の違いを学ぶ)
第3週 Lektion 1	相手の名前・出身・住所を聞く。不規則動詞 seinの人称変化
第4週 Lektion 2	国の名前を覚える。動詞の人称変化(3人称単数)・平叙文と疑問文の作り方・数
第5週 Lektion 2	電話番号を言う。100までの数・名詞の性と所有冠詞
第6週 Lektion 3	言語と国籍を知る。不規則動詞の sprechenの現在人称変化
第7週 Lektion 3	自分の専攻を語る。不規則動詞 habenの現在人称変化
第8週 7週目までのリビュー	中間試験は実施せず、これまでの復習を行う
第9週 復習	今まで学習した文法事項の総復習
第10週 Lektion 4	趣味を語る。不規則動詞の3つのパターン
第11週 Lektion 4	どちらが好みか聞く二者択一の表現。副詞gernの用法
第12週 ドイツの映画鑑賞	ドイツの映画を通して、ドイツの社会や文化を考える。
第13週 Lektion 5	食事について。好物を聞く表現
第14週 Lektion 5	朝・昼・晩には何をするのか。時を表す副詞・es gibtの用法
第15週 14週目までのリビュー	前期で行ったこれまでの箇所の復習を行う。
期末試験	

授業の計画・内容	
第16週 Lektion 10	現在完了形 過去にあった出来事について語る。
第17週 Lektion 10	現在完了形 過去にあった出来事について語る。
第18週 Lektion 6	家族や職業について語る。
第19週 Lektion 6	ドイツ人は何をするのが好きか。ドイツ人と日本人の労働観と余暇に対する考え方の比較。
第20週 Lektion 7	自分の持ち物について。人称代名詞の1格(主格)と 4格(直接目的格)
第21週 Lektion 7	ある物(人)について自分がどう思っているかを表現する。findenと形容詞を用いての表現
第22週 ドキュメンタリーフィルム	ドキュメンタリーフィルムの鑑賞
第23週 22週目までのリビュー	中間試験は実施せず、これまでの復習を行う。
第24週 復習	今まで学習した文法事項の総復習
第25週 Lektion 8	自分の部屋について。前置詞の格支配
第26週 Lektion 8	どこに何があるのかを説明する。
第27週 ドイツの環境政策について学ぶ	資料を通して、ドイツの環境政策や市民の環境問題に対する意識を知る。
第28週 Lektion 9	時間を聞く。時を表すいろいろな副詞と前置詞
第29週 Lektion 9	1週間の予定を話す。
第30週 29週目までのリビュー	後期で行ったこれまでの箇所の復習を行う。
期末試験	